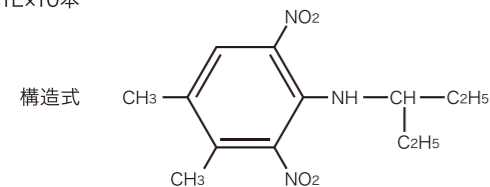


成分・性状・物理化学的性質・規格

種類：ペンディメタリン水和剤
 成分：ペンディメタリン・・・45.0%
 化学名：N-(1-エチルプロピル)-3,4-ジメチル-2,6-ジニトロアニリン
 性状：黄緑色水性和粘稠懸濁液体
 規格：1L×10本



人畜・環境への高い安全性

人畜毒性(製剤):普通物

LD ₅₀ (ラット、経口、雌雄)	5000mg/kg以上
LD ₅₀ (ラット、経皮、雌雄)	2000mg/kg以上

魚毒性(製剤):A類相当

コイ	LC ₅₀	(96時間)	1000mg/L
ミジンコ	EC ₅₀	(48時間)	0.7mg/L
緑藻類	EbC ₅₀	(72時間)	0.016mg/L

適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ペンディメタリンを含む 農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
西洋芝 (パーミューダグラス)	—	畑地一年生雑草 (キク科を除く)	芝生育期 (雑草発生前)	400~900 g/10a	200~300 L/10a	3回以内	全面土壌散布	3回以内
日本芝			雑草発生前				植栽地を除く 樹木等の周辺地 に全面土壌散布	
樹木等	鉄道、公園、庭園、 堤とう、駐車場、道路、 運動場、宅地、のり面など							

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 使用前によく振ってから使用してください。
- 本剤の所定量を所要量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布してください。散布液調整後はできるだけ速やかに散布してください。
- 本剤は雑草発生前～発芽時処理の効果が高く、雑草の生育が進むと急激に効果は低下するので、使用時期を誤らないように注意してください。
- 散布の際は雑草およびサッチ等を除去した後、使用すると効果的です。
- 本剤はイネ科および広葉の一年生雑草に効果がありますが、キク科雑草、ツユクサには効果が劣るので、これらの雑草の優占圃場では使用しないでください。
- 土壌が乾燥している場合には効果が劣ることがあるので、希釈水量を多めに散布してください。
- 植付け直後の芝生には生育抑制などの薬害を生ずることがあるので使用しないでください。
- 水源池、養魚池等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- 散布器具、容器の洗浄水および残りの薬液は河川等に流さず、容器、空袋等は圃場に放置せず、環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 激しい降雨の予想される場合は使用を避けてください。
- 散布薬液の飛散あるいは本剤の流出によって有用植物に薬害が生ずることのないよう十分に注意して散布してください。
- 本剤は着色するので、衣服、散布器具、散布車や周辺の状況などに十分注意して散布してください。
- 散布時や散布液乾燥前にゴルフプレーヤーが立ち入ることのないよう注意して散布してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 散布の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は、必ず安全な場所に保管してください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

2011.12/5K(DD)_8002-01

販売取扱店

BASFジャパン株式会社

〒106-6121 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー21階
 ☎0120-014-660 ホームページ <http://www.basf-agro.co.jp>

BASF
The Chemical Company

芝生用/除草剤 ペンディメタリン水和剤
ウェイアップ®フロアブル

- 殺草スペクトラムが広い
- 長い残効性
- 日本芝への安全性が優れ、連年使用しても安心
- 環境条件による変動が少なく除草効果が安定

ウェイアップ®フロアブル
WayUP® Flowable



For professional greenkeepers.

®=BASF社の登録商標

プロフェッショナルに選ばれ続けて20年。 それは、効果と実績の証。

選ばれている特長 1

- 日本芝への高い安全性
- 春秋2回散布が連年可能

<コウライシバに対する安全性> (1993~1994年、圃場試験)

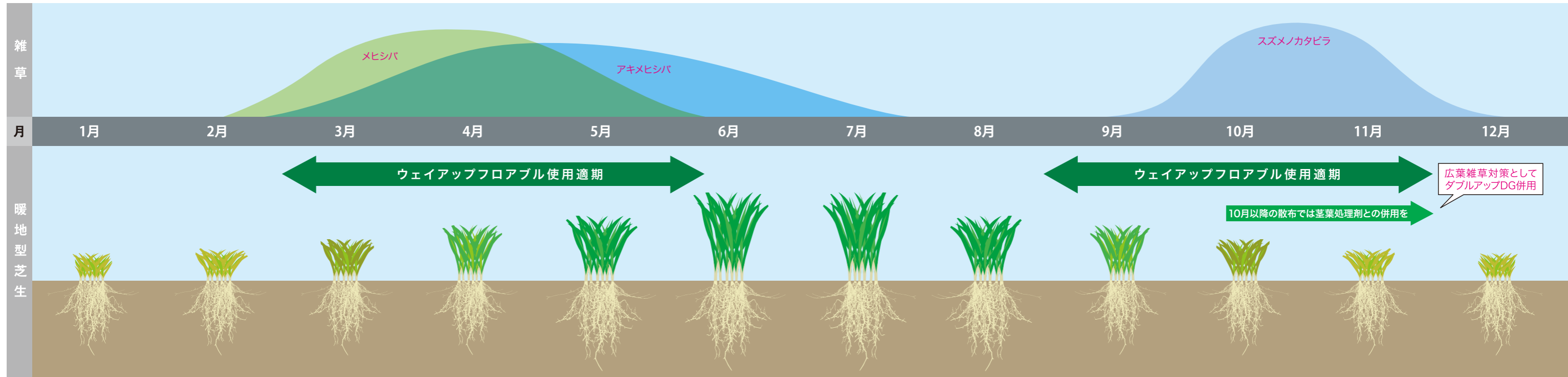
供試薬剤	薬量/m ²	春季1回散布	秋季1回散布	年2回散布
ウェイアップフロアブル	0.4ml	薬害無し	薬害無し	薬害無し
	0.9ml			
	1.8ml			
A剤	0.3ml	影響中	影響中	影響中
	0.6ml	影響大	影響大	影響大
B剤	0.24g	薬害無し	影響大	影響大
	0.48g	影響大	影響大	影響大

※洋芝のコース及びグリーンへの散布はできませんが、ペントガラスのグリーン周りでは直接薬液がかからない限り散布可能。ドリフトやシューズ裏に付着した薬剤による影響もありません。

選ばれている特長 4

- 雑草発生前処理で高い効果
- 芝にやさしい残効性

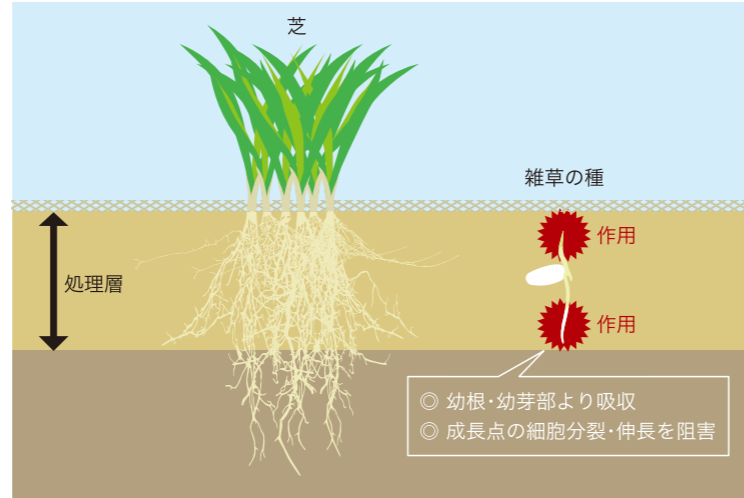
<雑草の発生と使用適期>



選ばれている特長 2

- 有効成分の土壌吸着により、安定した処理層形成
- 降雨、斜面でも効果が安定

<殺草メカニズム>



効果的にお使いいただくための8つのポイント

- 1. 雑草の発生前に散布してください
- 2. 乾燥時やサッチ量が多い時には、散布水量を多めに
- 3. グリーン散布 NG
- 4. 花木への直接散布は避けてください
- 5. 均一散布を心がけてください
- 6. 張芝直後には使用しないでください
- 7. キク科雑草には、ダブルアップDGとの併用を
- 8. 激しい降雨が予想される場合は使用を避けてください

選ばれている特長 3

- 広葉雑草から越年生雑草までの、広い殺草スペクトラム

殺草スペクトラム	ウェイアップフロアブル	0.5g/m ²		0.8g/m ²		A剤		0.12g/m ²	
		発生前		生育初期		発生前		生育初期	
		◎	△	◎	△	◎	△	◎	△
イネ科	スズメノカタビラ	◎	△	◎	△	◎	△	◎	△
	メヒシバ	◎	△	◎	△	◎	△	◎	△
	アキメヒシバ	◎	△	◎	△	◎	△	◎	△
	オヒシバ	◎	△	◎	△	◎	△	◎	△
	シマスズメノヒエ*	◎	△	◎	△	◎	△	◎	△
カヤツリグサ科	メリケンカルカヤ*	◎	△	◎	△	◎	△	◎	△
	カヤツリグサ	◎	△	◎	△	◎	△	◎	△
キク科	ヒメグ*	◎	△	◎	△	◎	△	◎	△
	オオアレチノギク	△	×	◎	△	△	×	△	×
ナデシコ科	ヒメジョオン	△	×	◎	△	△	×	△	×
	ウラジロチチコグサ	△	△	◎	△	△	△	△	△
マメ科	オランダミミナグサ	◎	△	◎	△	◎	△	◎	△
	ハコベ	◎	△	◎	△	◎	△	◎	△
ツメクサ	ツメクサ	◎	△	◎	△	◎	△	◎	△
	カラスノエンドウ	×	×	△	×	×	×	△	×
アブラナ科	ヤハズソウ	△	×	◎	△	△	×	△	×
	シロツメクサ*	×	×	△	×	△	×	△	×
トウダイグサ科	タネツケバナ	◎	△	◎	△	◎	△	◎	△
ゴマノハグサ科	コニシキソウ	◎	×	◎	△	◎	△	◎	△
カタバミ科	オオバコ*	△	×	△	×	△	×	△	×
スミレ科	タチイヌノフグリ	△	×	◎	△	△	×	△	×
カタバミ科	スミレ*	×	×	×	×	×	×	×	×
	カタバミ*	△	×	△	×	△	×	△	×

◎:優れる ○:有効 △:劣る ×:無効 *は多年生雑草、発生前、生育初期は実生個体対象

<効果試験データ> (社内試験成績抜粋)

